

守谷ボランティア NEWS

2023年4月号 (毎月1日発行)



<発行> 守谷市民活動支援センター
〒302-0119 守谷市御所ヶ丘5丁目25番1
守谷市市民交流プラザ2階
電話: 0297-46-3370 FAX: 0297-46-3320
Email: moriyaborantia1@themis.ocn.ne.jp
ホームページURL: <https://moriya-cac.org/>
開館時間: 午前10時～午後6時 (午後9時まで延長可)
休館日: 月曜日、年末年始

会員募集 パソボラ・守谷

パソコンが苦手な方や高齢者・障がい者の方を共に支援して下さる方を募集しています。

- 参加条件 パソコン・スマホに興味のある方
- 会費 年会費 1,000円
- 活動内容
 - ・パソコン講習会の実施(月5回開催)
 - ・デイサービスにて個人レッスン(施設2か所)
 - ・パソコントラブルなど相談対応
 - ・パソコンなどに関する会員相互の情報交換(フォーラムなど開催)
- 問合せ先 大川 ☎48-7175



講習風景

公園の藤棚が開花します

「もりや・みどりの会」では、大山公園、守谷沼、けやき台公園とくわがた公園の藤棚を管理しています。ぜひ、藤の花を見に足を運んでみてください。

- 日時 4月中旬～5月上旬
- 会場 大山公園、守谷沼、けやき台公園、くわがた公園
- 問合せ先 もりや・みどりの会
鬼形 ☎080-3450-8949



健幸ウォーキングを楽しみませんか

「健幸ウォーキングもりや」では、ご好評により今年度も毎月1回、ウォーキングを楽しむ企画の開催を予定していますので、皆さんの参加をお待ちしています。

日時	集合場所	コース
4月25日(火)	みずき野ひろば前	みずき野・小貝川周辺散策(6km)
5月23日(火)	立沢公園噴水前	四季の里公園(5.3km)
6月27日(火)	けやき台公園	けやき台・戸頭(6.3km)
7月25日(火)	城址公園駐車場横	プロムナード水路・松並青葉(6.2km)
8月22日(火)	市役所正面玄関前	守谷市役所・やまゆり公園・四季の里(5.1km)
9月26日(火)	北守谷公民館	鬼怒川周遊(8.5km)

※雨天中止(前日午前中に会のホームページ及び電話にて連絡)

- 申込方法 4月15日(土)以降に会のホームページまたは電話で申し込む ※各コース実施日の1週間前まで
- 申込・問合せ先 健幸ウォーキングもりや 横山 ☎070-2818-5601



- 時間 9:00～11:30
- 対象 市内在住・在勤の方
(障がいのある方もサポーター同伴で参加可)
- 参加費 無料
- 定員 先着20人
- 主催 健幸ウォーキングもりや



登録団体活動情報 4月

各団体の活動予定は変更になる場合があります。事前に各問合せ先にご確認ください。

団体名	場所	活動日	問合せ先
手話サークルふれあい 手話の学習・交流	中央図書館・中央公民館	毎週金曜日(第5金曜日は休み) 10:00～12:00	川畑 090-6500-0266
守谷駅前クリーンズ 守谷駅前ゴミ拾い	守谷駅西口広場(階段下集合)	第3(日) 9:00～10:00	会田 090-3335-7227
大柏里山の会 谷津田の草刈り、ゴミの回収作業	大柏下ケ戸(元はるにわかフェ前)	第2(日) 9:00～11:00	高木 090-1268-0269
立沢里山の会 里山整備	立沢里山	第3(土) 9:00～12:00	市民活動支援センター

助成金情報 *内容は変更になる場合があります。
各HPをご確認ください。

社会教育	～4/14 令和5年度「助成」 公益財団法人 カメイ社会教育振興財団 https://kameimuseum.or.jp/foundation/
社会教育	～4/30 地域活動団体への助成「生活学校助成」 公益財団法人あしたの日本を創る協会 http://www.ashita.or.jp/
環境・社会教育	～5/11 子供たちの環境学習活動に対する助成事業 公益財団法人 高原環境財団 https://takahara-env.or.jp/

編集後記

サードプレイスは、家庭(ファーストプレイス)でも職場(セカンドプレイス)でもない、居心地が良く自分らしさを出せる「第三の場所」のことをいいます。海外では、パブやカフェなどがサードプレイスの役割を果たすケースが見られます。日本は、地域内子育てサークルやボランティア活動などを通じて、人との関わりを求める人が多いです。サードプレイスでは、家庭や職場で課せられる役割や責務から解放されて、自分らしく、リラックスして過ごすことができ、多様な人々と出会い、新しい価値観と出会うことも可能です。家と学校、職場の往復で生活が終わってしまうのではなく、その中間で人と交流しながら過ごす時間を持つことによって、「家や会社とは別の形で地域社会とつながろう」とする行為がサードプレイスという形に表れたといえます。当センターは、居心地がよく、自分らしく過ごせる場所「守谷のサードプレイス」を目指しています。



センターのロゴマークが決定しました！

2023年3月19日(日)13:30

ロゴマーク募集に多数のご応募いただきありがとうございました。
受賞者のみなさんに作品の説明と受賞をうけての感想をお聞きしました。

最優秀賞 よしはら ゆうま 吉原 悠真さん

守谷市の発展に欠かせない人、街、商業を繋げるシンボルとなるようにと考えたロゴです。
生まれ育った守谷で賞を受けたことがとても嬉しい。守谷市が大好きなので今後も地元で活動したいです。



優秀賞 かわばた ひろみ 川畑 弘美さん

地域や市民を繋ぐセンターに「手話」の「ずっと、続く、連絡」等を意味する単語がぴったりだと思いデザインしました。初めてチャレンジした作品が賞を受けてビックリしました。手書きでも応募できたので良かったです。「手話サークルふれあい」のメンバーにも積極的に参加して欲しいと日頃から話しているので自ら実践できてよかったです。



優秀賞 しみず おとか 清水 己歌さん

(小学6年生：2023年3月時点)

センターは人と人が出会う場所、繋がる場所に育っていくことをイメージしました。
守谷市ハーフマラソンロゴマークにも応募しました。その作品を見たお父さんの知人から「センターロゴマーク募集に応募してみたら」と声をかけられ、応募しました。小学校に入ってから自分のiPadで絵を描いたりしています。受賞をうけて、とても嬉しかったです。



特別賞 ごとう ゆうた 後藤 佑太さん (中学3年生：2023年3月時点)

センターは幅広い世代が利用しているのでカラフルかつ王道的な色にしました。Mが守谷、Sが支援、Cがセンター。見た人が覚えられるようなインパクトにしました。自分の意志で応募した作品が受賞できてとても光栄で嬉しい。自信につながった。今後は積極的に応募したい。



特別賞 おおつか よしやす 大塚 仁康さん

一筆書きで書かれた軌跡はハート、アルファベットのMを意味しています。Mは守谷、マインドの頭文字です。躍動的なラインは活動的で地域をやわらかく包み込むイメージを想定しました。受賞できてとても光栄です。これを機にボランティア活動にも関心を持ちます。



特別賞 しおざわ まゆ 塩澤 真結さん (大学4年生：2023年3月時点)

困っている人に手を差し伸べる人をパズルのピースがかみ合うように表現しました。広報もりやを読むことが好きで小学生の頃からボランティア活動をしています。中学2年生からMIFAの会員。イラストが趣味で軽い気持ちで応募しました。選ばれるとは思っていませんでしたので嬉しいです。



ロゴマーク募集を機に今までセンターを知らなかった方にも、知ってもらえたことが嬉しいです。
今後、優秀賞、特別賞の作品もどこかで使用させていただくかも知れませんので楽しみに！